

# 令和3年度

## 保育園の自己点検・自己評価

日新保育園

### 記入方法

- \* 個人評価ではなく、園としての評価です。
- \* 4段階評価です。該当する欄に○印を付けて下さい。

**園の目標** 「清らかなこの目、このひとみをみんなで守り育てよう」

- 1、健康な子ども
- 2、友だちづくりのできる子ども
- 3、思いやりのある子ども
- 4、いろいろなことに興味と関心をもつ子ども

4. たいへんよい
3. まあまあよい
2. 一部検討を要する
1. 改善を要する

**今年度の重点** 「のびのびと遊び発見をする子ども」

◎保育の計画の編成と実施に関する評価

項目	内 容	評価				改善に向けて	
		4	3	2	1		
全体的な計画に	(1) 保育目標の具現化に向け、子どもの実態を踏まえた重点目標を設定している。	○				<ul style="list-style-type: none"> <li>・重点目標は全職員で話し合い決めたため、共通理解が図りやすくなった。今後も続けていく。</li> <li>・年度の途中で再確認し合う機会を設け、年間を通して意識できるようにしていく。</li> </ul>	
	(2) 目標は、施設や地域の特色を生かしている。	○					
	(3) 全体的な計画は、前年度の反省を生かしている。	○					
	(4) 全体的な計画は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っている。		○				
保育について	(1) 指導計画は、子どもの実態に即して作成している。	○				<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に遊び込める環境構成について、園内研修等で更に学んでいく。</li> <li>・全職員が素材の特性などについて理解を深めていけるようにする。また用具の適切な活用の仕方についても職員の意識を高めていく。</li> </ul>	
	(2) 保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っている。		○				
	(3) 発達過程を踏まえた1日の流れ(ディリープログラム等)になっている。	○					
	(4) 主体的に遊び込める環境構成の工夫や過程を意識した保育をしている。		○				
	(5) 素材・用具を適切に活用している。		○				
	(6) 評価結果を基に保育の改善に努めている。		○				
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切である。	○				<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度の反省を生かし新型コロナウイルス感染症対策をした上で、行事を実施することが出来た。今後も見直しを図っていく。</li> <li>・普段の保育を行事に繋げていけるように、行事の取り組み方について見直しをしていく。</li> </ul>	
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしている。	○					
	(3) 子どもの活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしている。		○				
	(4) 保護者の要望や意見、地域性を取り入れている。		○				
	(5) 計画・実施・評価・改善の体制をとっている。	○					
職務	(1) 職務内容が明確で、協働できる体制になっている。		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・職務について自分で考える、わからないことは質問する、自分から動くという意識を高めていく。</li> <li>・園の職員としての自覚を持ち、担当以外の事にも関心と協働する気持ちが持てるようにする。</li> </ul>	
	(2) 職務の分担、割り当てが適切に行われている。		○				
	(3) 各種会議を適切かつ効率的に進めている。	○					
	(4) 職員相互がそれぞれ全体的な立場を理解し、協力や助言を惜しむ事なく園の運営に関わっている。		○				
連携	(1) 子どもの状況について関係する全職員が周知している。	○				<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの状況について回覧や伝達などで周知される環境を整えているが、各職員がしっかりと把握するように努める。</li> <li>・互いの保育に対して関心を持ち、気づいたことを伝え合う努力をしていく。</li> </ul>	
	(2) 職員同士が打ち合わせや研修を行い、お互いの保育に対しての理解を深め、援助についての共通理解が図られている。		○				
	(3) 地域等との年間交流計画は保育過程に沿ったものになっている。		○				
	(4) 地域の人達と楽しく触れ合う事ができるような配慮や援助をしている。						
組 織	クラス経営	(1) 年齢別・クラス別目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定している。	○				<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラス経営には、担任間の連携が大切であることを理解し、経験年数に関係なく、日頃から自分の考えを伝えあうようにする。</li> </ul>
		(2) 年齢別・クラス別目標は、子どもの実態に即して設定している。	○				
		(3) 同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っている。		○			
		(4) 評価、資料(諸記録)を集積している。	○				
	特別支援教育	(1) 全職員で情報を共有し、チームで対応している。	○				<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別の指導計画を立て、回覧することで、全職員で情報共有ができていく。</li> <li>・今後も専門機関との連携を図っていく。</li> </ul>
		(2) 個別の指導計画を作成している。	○				
		(3) 家庭や専門機関との連携を図っている。	○				
	健康・安全・防災教育	(1) 健康な生活を送れる為の保健対策をこうじている。	○				<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染拡大予防についての対策や情報、園としての取り組みを今後も発信していく。</li> <li>・様々な状況に対し、各自が適切に状況判断し動けるような力を身に着けていく。</li> </ul>
		(2) 避難訓練・交通安全指導を計画に基づいて適切に実施している。	○				
		(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っている。	○				
		(4) 子どもの安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っている。	○				
		(5) 災害や不審者などに対応する周知な配慮を行っている。		○			

項目	内 容	評価				改善に向けて	
		4	3	2	1		
食育	(1) 全体的な計画に基づいた「食育計画」を作成している。	○				<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍の中でも工夫して食育体験を行うことができた。今後も状況に合わせてできることを考え行っていく。</li> <li>・給食担当者との連携を今後も図っていく。</li> </ul>	
	(2) 年齢に応じて食事を楽しむ事ができる工夫や配慮がなされている。		○				
	(3) 多様な食の体験活動が行われている。		○				
	(4) アレルギー対応については、保護者や職員・関係機関と連携をとり適切に行っている。	○					
研究・研修	園内研修	(1) 研究テーマは、保育目標の具現化につながるものである。	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・園内研修で学んだことを保育へ生かそうとしているが、毎日の生活の中で時間が経つと意識が薄れていってしまう。継続できるよう個人の意識を高めていく。</li> </ul>	
		(2) 園内研修の計画・運営は適切である。	○				
		(3) 研究の成果を日常の保育に生かし、子どもの育ちに反映させている。		○			
	園外研修	(1) 各種研究会、研修会、講習会への参加態勢の充実を図っている。	○				
		(2) 各種研究会、研修会、講習会での内容を職員に伝え、共通理解を図っている。	○				
情報	(1) 子どもや保護者に関する個人情報を適切に取り扱っている。	○				<ul style="list-style-type: none"> <li>・書類の管理、机の上のメモ等の扱いにも注意していく。</li> </ul>	
	(2) 知り得た情報等の守秘義務を果たしている。	○					
施設・設備	(1) 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っている。		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に安全点検を行っているが、整理、保管に関しては、職員の意識を高め、各自が自分の事として取り組めるようにする。</li> <li>・通用門や玄関の施錠については、保護者にも呼びかけ協力してもらう。</li> </ul>	
	(2) 遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管している。		○				
	(3) 不審者等に対応する備え(装置や設備など)がある。	○					
	(4) 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用している。	○					
経出 理納	(1) 各種会計を適正かつ適切に管理・処理している。(集金等を含む)	○					
開 か れ た 園 づ く り	幼保・ 学校間 交流・ 連携	(1) 小学校との連携体制をとっている。		○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で小学生との交流は出来なかった。状況を見ながら連携を図り、就学に向けて大切な連絡事項は、取り落としがないように確認していく。</li> </ul>	
		(2) ねらいに沿った子ども同士の交流ができています。		○			
		(3) 他施設等の幼児児童生徒と触れ合う中で、子どもが楽しく過ごし充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っている。	○				
		(4) 指導者同士が、お互いの保育・教育に対する理解を深め、援助について共通理解をはかっている。		○			
		(5) つながりを意識した指導計画が作成、実施されている。		○			
	家庭・ 地域と の連携	(1) 希望者に対し、見学や参観を行っている。	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナウイルスの感染状況に合わせ、予防対策を行いながらできるだけ保護者の参観や見学の希望者を受け入れができるようにしていく。</li> </ul>	
		(2) 保護者を含む地域の人材活用をしている。		○			
		(3) 子どもの興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流している。					
		(4) 地域の行事を積極的に取り入れ、地域文化や生活に触れている。		○			
	子育 て支 援	(1) 地域に住む子ども同士、あるいは親子と一緒に遊ぶ事が出来るような場の設定を行っている。		○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の状況に合わせて感染対策をしながらできるだけ開催できるようにしていく。</li> <li>・子育て相談については、保護者からの要望に合せ、なるべくすぐに対応できるようにした。今後も相談しやすい環境を整えていく。</li> </ul>	
		(2) 「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定している。					
		(3) 子育て相談を随時行えるような体制になっている。		○			
		(4) 専門機関との連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供している。		○			
	情報 の発 信	(1) 各種たより・ホームページ等で施設の情報を発信している。	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者アンケートに書かれてきた意見要望については、できることを検討し応えていく。</li> </ul>	
学校 評価	(1) 地域や保護者の意見を施設運営に反映している。	○					

※R3年度は、新型コロナウイルス感染症の為評価できない項目があり斜線としている。